



帝京大学で職業説明会及び部隊見学支援を実施

自衛隊東京地方協力本部北地域事務所（所長 白岩一陸尉）は2月18日、板橋区に所在する帝京大学板橋キャンパスにおいて同大学薬学部及び医療技術部に対する職業説明会を実施するとともに、22日は練馬駐屯地において第1後方支援連隊の衛生隊見学を支援した。

本事業は、以前より帝京大学の薬学部及び医療技術部の両学部それぞれ個別に職業説明会や自衛隊中央病院の部隊見学を実施していたものを、今回から両学部合同かつ同時期に実施することで、学生等の移動や日程調整の負担軽減による参加者の増加により、更なる自衛隊の認知向上と志願者獲得を図ることを目的として実施した。

今までと異なる試みに帝京大学両学部の学生だけでなく医療技術部の准教授も参加するなど、大学側も高い関心を示していた。そして職業説明会では自衛隊中央病院の救急救命士がリクルーターとして説明及び質疑応答するのと同時に、部隊見学では衛生科隊員が応急担架の搬送体験や懇談を通じて、参加者の理解や疑問の払拭を図るなどして自衛隊の衛生に対する認知向上を図った。

参加した学生からは、「現場の衛生隊員、部隊の活動内容を知ることができて良かった」「救急救命士の資格を取った後に進める進路が知れてよかった。」のほか、准教授からは「自衛隊の活動の一部を学生たちが理解できたよかったです。救命救急コースの学生もまだまだ自衛隊の活動を知らない部分があるので、引き続き講義で伝えていきたい。」との前向きな意見をもらうことができた。

北地域事務所は、職業説明会及び部隊見学の案内を通じて自衛隊の認知向上と志願化促進を図っていく。



小学生へキャリア教育

東京地方協力本部豊島出張所（所長 岩澤一尉）は2月20日、新宿区立市谷小学校の6年生約80名に対し、キャリア教育（職業説明）を実施した。

この授業は、児童たちが様々な職業を知ることにより、将来の夢を具体化して自分と向き合い「生きる力」を身に付けていくための教育の一環であり、この日は医師や航空機パイロット、スポーツビジネスなど、様々な業種の代表とともに自衛隊の職業を説明した。

自衛隊の任務、陸・海・空の多様な職種などを説明すると、児童たちはメモを取りながら真剣な眼差しで聞き入っていた。中でもブルーインパルスパイロットについて説明すると「東京オリンピックの時に見たよ！」「家の上を飛んだんだよ！」など、皆大喜びだった。また、体験コーナーでは、陸自の背嚢を背負って重さを体験したり、入組み品のポンチョをかぶったりしながら思い思いに見て触れて楽しんでいった。

豊島出張所は、今後も様々なイベント等を通じて、子どもたちに将来の夢として自衛官を選択してもらえよう、活動を継続していく。

